

花粉症に悩む国民の皆さんへ

花粉症は、多くの国民が毎年悩まされるアレルギー性疾患です。特に春先にはスギ花粉の飛散量が増加し、くしゃみや鼻水、目のかゆみなどの症状が日常生活に大きな影響を及ぼします。

政府では、国民一人ひとりが適切に花粉症対策を行い、快適な生活を送れるよう、以下の情報発信や対策を推進しています。

国民一人ひとりが正しい知識を持ち、適切な対策を行うことで、花粉症の症状を和らげることができます。ぜひ、日常生活の中でこれらの情報活用や対策を取り入れてください。

1 今春のスギ雄花の着花量の状況について

一般的に、花粉の飛散量は、雄花の着花量(花粉生産量)に大きく依存します。令和6年度のスギ雄花花芽調査結果では、スギ雄花の着花量は、地域によりばらつきはありますが、過去10年平均値と比べると、全国的な傾向としては、やや多くなっています。近畿地方では特に多く、中国地方ではやや多く、一方で東北地方では少なくなっています。

・「令和6年度スギ雄花花芽調査の結果等について」 環境省 林野庁

https://www.env.go.jp/press/press_04186.html

2 花粉飛散予測について

政府が提供する花芽の発育状況に関するデータ、気象庁データなどを活用して、民間事業者による花粉飛散予測が行われています。

マスクやメガネの着用、薬の服用、外出を避けるためのテレワークの実施など、毎日の花粉症予防行動にお役立てください。

・「花粉飛散予測について」 気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/kafun.html>

3 予防行動・治療等について

花粉症の予防行動については、顔にフィットするマスクや眼鏡を装着したり、花粉飛散の多い時間帯の外出を避ける等し、花粉を避けることが重要です。

また、花粉症の治療については、毎年花粉症の症状が出る方は、本格的な花粉飛散開始の1週間前までには、医療機関や薬局を活用してお薬を準備し、使用を開始しま

しょう。飛散開始時期や症状がごく軽いときからお薬の使用を開始することで、症状を抑えられることがわかっています。

他にも、以下の「花粉症対策」等で紹介していますのでお役立てください。

- ・「花粉症対策」2024 年 1 月 環境省 厚生労働省

<https://www.env.go.jp/content/000194676.pdf>

- ・「花粉症環境保健マニュアル 2022」環境省

<https://www.env.go.jp/content/900406385.pdf>

4 産業界による取組

花粉症対策に取り組む企業が中心になり、効果的・効率的な対策を進めるため、「花粉問題対策事業者協議会(JAPOC)」を設置しています。

協議会では、花粉を避けるための製品(マスク、衣服、網戸、空気清浄機等)を認証する取組を行っています。

- ・花粉症対策について 経済産業省

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kafun.html

- ・花粉問題対策事業者協議会

<https://www.kafunbusiness.org/>